



存在は、テレビ放送が始まり、その翌年に父がテレビを買ってきた。東芝の14インチのテレビだった。かなり早い時期から家にテレビがあった方だと思つた。ただ、私はもう無縁にはなっていたので、自分の部屋でラジオを聞き、無線をやっていたため、あまりテレビは見なかったが、父は野球と相撲が好きで、それらを含めたスポーツ番組をよく見ていた。

その意味では、放送メディアは早い段階からずっと家にあり、家の中心にラジオもしくはテレビがあるという感じだった。我々世代以降の日本の家庭は、多かれ少なかれ同じような状況ではないかと思う。

100年前に放送が始まった。それは地元松山のNHKの第1放送と第2放送、南海放送の3局。さらに、もっとよく聞きたかったのが、英語の曲などを流していた岩国のFENだった。

初めて作ったラジオがそのようなものが聞けたこととは、大変なカルチャーショックというか、衝撃的な体験だった。その時のことは、いまでも鮮明に覚えている。

その瞬間からラジオに取って代わられるという見方もあるが、それは放送で分かっていない人の議論であり間違っている。私は考えている。

電波の媒体とネットの媒体は技術の違いであり、比較するものでも置き換わるものでもない。全く異なる形態のサービスが出て来ただけのこと。放送がネットに負けているように見えるのは、仕組みとしての違いで負けているのではない。サービス内容で負けているだけのこと。見る側にとっては面白ければどちらも見るはずだ。

また、放送は波はコントロールされ管理されているので情報の信頼性は高い。放送の免許は信頼性の保証書みたいなものであり、これは放送だからあるもの。放送をネットに融合させたら、そうした放送の価値はなくなってしまう。

放送の有効性は技術的にも言える。一方、ラジオやテレビは送信所で電波を送り、それを端末側で受ける形になるため、使う端末の数の足し算分の電気を消費するだけ。インターネットは、一回でも聴いたり、見たら、その端末以外のものをいっぱい使用するようになる。

一人が配信を見るための消費電力がどれくらいなのかは、誰もわからないが、放送に比べてけた違いに大きくなっている。特にAIなどで使うデータセンターの電力消費は遙かに大きい。インターネット技術の進化で便利になるため、消費電力が増えるのはある程度しょうがない。皆その部分の問題をスルーしている。しかし、そうした観点からの議論が必要だと思つている。

放送は、そうした観点からはエコだと思つている。放送局の送信設備で、キー局の送信設備で、50kWだったり、大きなものだと100kWのものもある。しかしインターネットのデータセンターでは、1つでメガワットクラスであり、けたが違つた。また、インターネットで何百万人が同時に見ることが対応しようとするには、1000人で見ようが、1000万人

技術は、その思想に全く逆行している。日本でも夏場になるとエアコンの消費電力などが問題だと報道されるが、本当は一番消費電力を増やしているのはインターネット通信で膨大なエネルギーを使っている。スマートフォン、PC 1台で見るとはいいが、それでは見えない。スマートフォン、PC 1台で見るとはいいが、それでは見えない。スマートフォン、PC 1台で見るとはいいが、それでは見えない。

放送は、その思想に全く逆行している。日本でも夏場になるとエアコンの消費電力などが問題だと報道されるが、本当は一番消費電力を増やしているのはインターネット通信で膨大なエネルギーを使っている。スマートフォン、PC 1台で見るとはいいが、それでは見えない。スマートフォン、PC 1台で見るとはいいが、それでは見えない。

アストロデザイン社長 鈴木茂昭さん SDGs 時代こそ放送の価値を



鈴木 茂昭(すずき・しげあき)氏。1945年1月生まれ。愛媛県松山市出身。1967年 東京電機大学 電気通信工学科卒業。1967年から1972年、リーター電子(株)にて電子計測器の設計開発担当。1972年から1977年 インターニックス株式会社にて米国系半導体の輸入販売(技術部長/アナログ営業部長)。1977年、アストロデザイン株式会社設立 現在に至る。

放送は、その思想に全く逆行している。日本でも夏場になるとエアコンの消費電力などが問題だと報道されるが、本当は一番消費電力を増やしているのはインターネット通信で膨大なエネルギーを使っている。スマートフォン、PC 1台で見るとはいいが、それでは見えない。スマートフォン、PC 1台で見るとはいいが、それでは見えない。

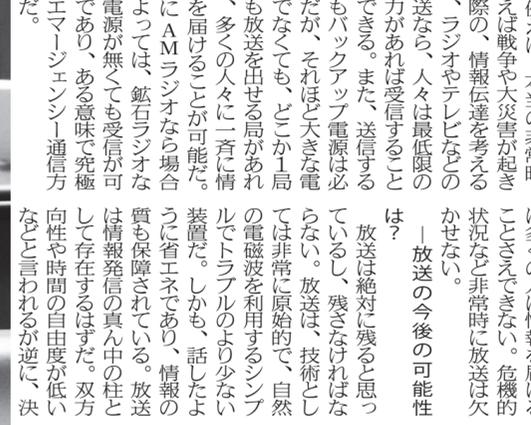
放送は、その思想に全く逆行している。日本でも夏場になるとエアコンの消費電力などが問題だと報道されるが、本当は一番消費電力を増やしているのはインターネット通信で膨大なエネルギーを使っている。スマートフォン、PC 1台で見るとはいいが、それでは見えない。スマートフォン、PC 1台で見るとはいいが、それでは見えない。



放送は、その思想に全く逆行している。日本でも夏場になるとエアコンの消費電力などが問題だと報道されるが、本当は一番消費電力を増やしているのはインターネット通信で膨大なエネルギーを使っている。スマートフォン、PC 1台で見るとはいいが、それでは見えない。スマートフォン、PC 1台で見るとはいいが、それでは見えない。

放送は、その思想に全く逆行している。日本でも夏場になるとエアコンの消費電力などが問題だと報道されるが、本当は一番消費電力を増やしているのはインターネット通信で膨大なエネルギーを使っている。スマートフォン、PC 1台で見るとはいいが、それでは見えない。スマートフォン、PC 1台で見るとはいいが、それでは見えない。

放送は、その思想に全く逆行している。日本でも夏場になるとエアコンの消費電力などが問題だと報道されるが、本当は一番消費電力を増やしているのはインターネット通信で膨大なエネルギーを使っている。スマートフォン、PC 1台で見るとはいいが、それでは見えない。スマートフォン、PC 1台で見るとはいいが、それでは見えない。



放送は、その思想に全く逆行している。日本でも夏場になるとエアコンの消費電力などが問題だと報道されるが、本当は一番消費電力を増やしているのはインターネット通信で膨大なエネルギーを使っている。スマートフォン、PC 1台で見るとはいいが、それでは見えない。スマートフォン、PC 1台で見るとはいいが、それでは見えない。

「受信機量産運動①」
 真真空管はガラス製品であり、バルブの成形等にガラスの消費は膨大である。だが、当時は都市ガスが不足していた時代だったから、人びとはガスを求めて奔走した。そして思いついたのが天然ガスの利用である。しかも、その天然ガスが首都圏にあまり遠くない千葉県(茂原)に大量に埋蔵されていることを発見した。真真空管や受信機の量産、ならびに改善改良運動といったことも、所詮はジャーナリストである私としては、通信省や商工省(現通産省)の担当官やメーカー幹部など、量産の重要性をいかにその際、同社は重電機部門中心であった。一時はラジオ受信機部門を手掛けたことがあったが、真真空管の不足のため事業を中断していた。しかし時代は無線通信開発期に入っており、そのためには管球(電子管)を度外視するわけにはいかなかった。それどころか大手会社こそ各種真真空管の生産が各方面から囁

最先端のその先に アストロデザイン

<p>8Kシアター</p>	<p>スタジアム・アリーナソリューション</p>	<p>フューチャーテクノロジー</p>
<p>193インチスクリーンに8Kカメラで撮影したコンテンツを投影。8K大画面をご体験いただけます。</p>	<p>ハードウェアビデオプロセッサや非圧縮メディアサーバーによって構成されるシステムを提案いたします。</p>	<p>8K8KカメラとHMDによるVR体験、生成AI(LLM)による音声制御システムの展示を行います。</p>

超高精細・高速・低遅延の映像技術をベースとしたソリューションを展開いたします。

Broadmedia & Entertainment Inter BEE

2024年11月13日(水)~11月15日(金) 幕張メッセ 映像制作/放送関連器材部門 ホール3 小間番号:3507

ONLINEはこちら

アストロデザイン株式会社

事業本部(営業) 〒145-0066 東京都大田区南青谷1-5-2 TEL:03-5734-6301
 東京オフィス 〒600-8177 京都市下京区烏丸通五条下ル大坂町394 京都近江屋ビル2F TEL:075-746-5605

https://www.astrodesign.co.jp

望まれていた。私(筆者)は当時の日立製作所社長倉田主税氏や通信機部門を担当していた伊藤整一氏らを説いて、将来日立の生き残り道は管球を含めた通信機部門にあることを勧めた。それが認められたかどうかは別として、日立製作所はやがてRACと技術提携して、茂原に総合管球工場(茂原工場)を建設した。当時としては巨額な五億四千万円という投資で、話題をよんだものである。

さて、私の本業は報道である。その使命は絶えず現実と未来を直視し、大衆や関係者に時代の推移を正しく認識してもらうための情報、PR活動を行うことにある。通信省、通産省、NHK、メーカーの人達と協力し、管球量産運動を展開した。

一方インターネットは、どこかで光ファイバーが切れたら一発でダメになる。確かに双方方向性の強みはあるが、違う視点で見ると、電力がないと、放送のような多くの人に情報を届けることはできない。危険な状況など非常時に放送は欠かせない。

放送は、その思想に全く逆行している。日本でも夏場になるとエアコンの消費電力などが問題だと報道されるが、本当は一番消費電力を増やしているのはインターネット通信で膨大なエネルギーを使っている。スマートフォン、PC 1台で見るとはいいが、それでは見えない。スマートフォン、PC 1台で見るとはいいが、それでは見えない。

ネットでは絶対には真似のできない技術がある

放送は、その思想に全く逆行している。日本でも夏場になるとエアコンの消費電力などが問題だと報道されるが、本当は一番消費電力を増やしているのはインターネット通信で膨大なエネルギーを使っている。スマートフォン、PC 1台で見るとはいいが、それでは見えない。スマートフォン、PC 1台で見るとはいいが、それでは見えない。